

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

静寂席をご存じですか？

3階の新書・文庫コーナー内の閲覧席は、パソコン・電卓・電子辞書など操作音のする機器の利用をご遠慮いただき「静寂席」です。静かな環境で集中して読書や調べものをするにはぜひご利用ください。

- ▶ 利用申し込みは不要です。
- ▶ 席数には限りがあります。譲り合ってください。
- ▶ 静寂席以外の閲覧席でも、音漏れや操作音など周りの方へのご配慮をお願いします。



2月の展示情報

※展示情報は変更する場合がございます。

**2F パープルゾーン 三角台**  
「スタッフおすすめ本2022」(～2/20)  
図書フロアスタッフがおすすめする本を選びました。一冊、一冊にスタッフがコメントを添えています。さまざまなジャンルの本が集まっているので普段は手に取らない本との出会いのきっかけにしてください。

**3F ブルーゾーン**  
「ミステリーの誘惑」(～2/18)  
謎が解き明かされていく様子を追うだけではなく、隠された真実やトリックを深く読み解くことが推理小説の醍醐味の一つです。「深読み」で更に面白くなる作品をジャンルごとに集めました。多種多様な推理小説をご堪能ください。

**3F グリーンゾーン**  
「迷～正解のない時代に手がかりを探す～」NEW!  
(～5/13)  
日常や社会に数多く存在する課題と決断。そこに潜む「迷」。私たちが向き合わなければならない「迷」を、どう乗り越えるか。解決の糸口を社会・人生・文学・決断の四つのキーワードで探ります。「迷」がある方もない方も、本展示で「迷」と向き合う方法を見つけていただければ幸いです。

**3F エレベーターホール**  
日比谷カレッジ  
「叫びと囁き 福島の11年」関連展示(～3/20)  
東日本大震災発災から11年が経過しました。原発事故により避難指示が出された区域も徐々に解除されています。発災直後から福島で活動するフォトジャーナリスト・豊田直巳氏の写真を通して福島とその住民の11年について考えていただければと思います。

展示 PICK UP

2F パープルゾーン【江戸・東京】の本を集めたゾーン 3～18日(金)

「江戸書物大全」

江戸時代に開花した文化のひとつである【出版】。印刷技術の発達により書籍が流通し、本を読むことが庶民の間に広まったのはこの頃からと言われています。本展示では当時の人気作家やベストセラーのほか、現代も読み継がれている古典作品を紹介。あわせて印刷や流通などの出版事情についても特集します。

江戸時代に開花した文化のひとつである【出版】。印刷技術の発達により書籍が流通し、本を読むことが庶民の間に広まったのはこの頃からと言われています。本展示では当時の人気作家やベストセラーのほか、現代も読み継がれている古典作品を紹介。あわせて印刷や流通などの出版事情についても特集します。

←小説だけじゃない！  
江戸文学の魅力を伝えます。

『日本永代蔵 全訳注』

- 井原 西鶴 作
- 矢野 公和・有働 裕・染谷 智幸 訳
- 講談社学術文庫 ●2018年

『〈奇〉と〈妙〉の江戸文学事典』

- 長島 弘明 編著
- 文学通信 ●2019年

教えて！  
図書館用語  
(増補版)

本誌「ポモエ」2018年3月号まで続いた「教えて！図書館用語」のコーナー。欄外でひっそりと続けられていた幻のコーナーです。読んでくださった方にも、初めてご覧になる方にも分かりやすいように、過去に掲載した用語をもう一度ご紹介していきます。※掲載は不定期です。

参考図書  
さんこうとしよう

辞書や百科事典、地名事典、人名事典、年鑑、地図帳など、特定の知識や情報について調べるための資料のこと。レファレンス・ブックとも呼ばれる。各項目ごとに簡潔な説明が配列しており、求める情報を簡単に探し出せるようになっている。本の背ラベルに「R」の記号が使われ、一般の図書とは区別した書架に配架されていることが多い。

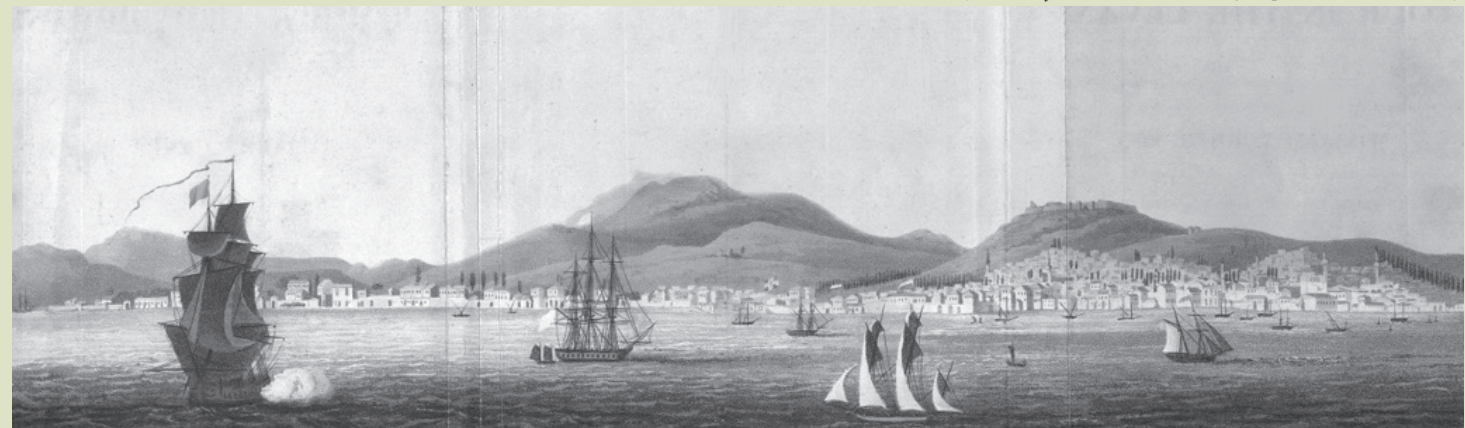
参考：『最新 図書館用語大辞典』図書館用語辞典編集委員会 編 柏書房 2004年

特別研究室 内田嘉吉文庫の  
企画展示

古書で旅する  
世界の街

内田嘉吉文庫で所蔵している地理書、航海記・探検記、写真集からはその当時の街の様子がよくわかります。今回の企画展示では18～19世紀に発行された資料を中心に、所収の図版から、貿易や商業で栄えた街、政治の中心、文化都市など街の興隆の様子をパネルで紹介。現在の東京やニューヨークなどに勝るとも劣らない賑わいを見せ、繁栄する街の時代による変遷についてもご覧ください。

▼スミルナ(現イズミル)全景(トルコ)『Journal of A Tour in The Levant, vol.3』/William Turner 著/1820年



- 【主な展示資料】
- 『Journal of A Tour in The Levant, vol.3』  
William Turner 著 / 1820年
  - 『L'Inde des Rajahs』  
Louis Rousselet 著 / 1877年
  - 『The Queen's London』  
Cassell and Company, Limited / 1897年
  - 『土耳其畫観』 山田寅次郎 著 / 博文館 / 1911年  
ほか



▲ロンドン チープサイドよりセント・メアリーズ・ボウ教会を望む(英国)『The Queen's London』/Cassell and Company, Limited/1897年

開催中～3/31(木)

休館日：2月21日(月)、3月21日(月・祝)

- 開室時間：  
平日 10:00～20:00  
土曜 10:00～18:00  
日曜・祝日 10:00～16:00
- 会場：4階 特別研究室
- 入場無料



山田寅次郎(提供：山田家)

2/20(日)  
【関連講座】古書で紐解く近現代史セミナー第39回  
山田寅次郎  
～日本とトルコの親善に生涯を捧げた「民間大使」～

講師：和多利 月子(ワタリウム美術館 役員)

内田嘉吉文庫所蔵の『土耳其(トルコ)畫観』(博文館/1911年)を著した山田寅次郎。彼は1890(明治23)年和歌山県串本沖でのエルトゥール号遭難事件の義捐金を届けるためオスマン帝国(現・トルコ共和国)に渡りました。当地で実業家として活動し、日本とトルコの親善に尽くした彼の役割についてお話しします。

- 日時：2月20日(日)  
14:00～15:30(13:30開場)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：100名
- 参加費：1000円  
(千代田区民・学生500円)  
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

calendar 開館時間：平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

2022年 2月							2022年 3月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
			1	2	3	4	5				1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				

お問合せ先：  
千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340  
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

お知らせ  
新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い、開館時間等、掲載されている内容について変更や中止になる場合があります。最新情報につきましては、日比谷図書文化館(03-3502-3340)またはホームページ(https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/)にてご確認ください。ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

access [都営地下鉄]●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分  
[東京メトロ]●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分  
●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分 [JR]「新橋駅」徒歩10分  
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

▶▶▶館内では常時マスクをご着用ください。入館の際は、手指消毒・検温のご協力をお願いします。

# 2・3月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 2/6 (日) シリーズ:女性たちの芸術 第2回 印象派の女性画家たち

講師:新畑 泰秀(アーティゾン美術館学芸課長)

印象派は、新しい美術を産み出そうという機運に満ちていました。女性の立場が十分に尊重されていなかった時代に女性画家たちを仲間に加え、平等な立場で活動を行ったこともその大きな特徴です。本講座では、ベルト・モリゾ、メアリー・カサットといった画家たちをご紹介します。



ベルト・モリゾの「ルコニーの女と子ども」  
1872年、油彩、カンヴァス  
61.0×50.0cm  
石橋財団アーティゾン美術館

- 日時:2月6日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:100名
- 参加費:1000円

## 2/13 (日)他 <日比谷オペラ塾>中央大学教授・森岡実穂が語る短期集中講座(全2回) ジェンダーの視点から『魔笛』『コジ・ファン・トゥッテ』を見直す

講師:森岡 実穂(中央大学経済学部教授)

描かれた時代の社会規範を反映しているオペラ作品は、現代のジェンダー感覚からすると「差別的」と思われる部分が出てきます。しかしそうした「問題」に注目することは作品の構造をより明確に理解する助けとなります。モーツァルトのオペラを題材に、オペラ演出を見る上で役立つジェンダーに関する視点を学び、それが作品解釈にどういう拡がりを与えているのかを考えます。

(主催:フェニーチェ劇場友の会、共催:日比谷図書文化館)

- 日時: 前編:「家族」を最小単位として〜『魔笛』と家父長制の力 2月13日(日)14:00~15:30(13:30開場) 後編:「女はみんなこうあるべき」?〜『コジ・ファン・トゥッテ』と性規範 2月27日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回60名 ■ 参加費:各回1500円

## 2/25 (金) e-sportsとゲームの境界

講師:live(リベ)('ぶよぶよ')プロライセンスゲーマー)

今年度30周年を迎えたパズルゲームである「ぶよぶよ」の、コミュニティからプロシーンに至るまでを追い続けた講師の足跡を辿ります。そしてその経験則から、ゲームとeスポーツの違いとは何なのかという命題について紐解いていきます。



- 日時:2月25日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:100名
- 参加費:1000円

<参加申込>電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

## 3/4 (金) 叫びと囁き 福島11年 フォトジャーナリスト豊田直巳のライドトーク

講師:豊田 直巳(フォトジャーナリスト)

東日本大震災発災から11年が経過しようとしています。発災直後から福島で取材・撮影しているフォトジャーナリスト・豊田直巳氏を講師に迎え、福島原発事故の被災者がどのように11年間過ごしてきたのか、現在避難区域はどのようになっているかをお話いただきます。



- 日時:3月4日(金)18:00~19:30(17:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:100名 ■ 参加費:1000円

## 3/5 (土) 千代田区民講座 幸せを育むコミュニケーション —家庭・職場でのコミュニケーション・スキルアップ—

講師:福井 嗣泰(江戸川大学名誉教授)

あなたは人とのコミュニケーションが上手に取れていますか。SNSでの交流、職場や地域・家庭内での人間関係に戸惑いを感じることはありませんか。この講座は、そんなあなたに、幸せを育むコミュニケーションの方法を教えます。さあ、この方法を学んで豊かな人生を歩み出しましょう。

(主催:NPO法人 神田雑学大学、共催:日比谷図書文化館)



- 日時:3月5日(土)14:00~15:30(13:30開場)
  - 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
  - 定員:60名 ■ 参加費:無料
- ※千代田区民は1月25日(火)から、区民以外は2月1日(火)から受付開始

## 3/6 (日)他 <日比谷オペラ塾>横浜国立大学教授・小宮正安が語る短期集中講座(全2回) 文化史から読み解く「ウィンナ・オペレッタ」の魅力と変遷

講師:小宮 正安(横浜国立大学教授)

『こうもり』や『メリー・ウィドウ』などの大ヒットで、一時代を創り上げたウィンナ・オペレッタ。この講座では、文化史の視点を交えつつ、19世紀後半から20世紀前半にかけて興隆したウィンナ・オペレッタの魅力や変遷について探ります。上記の2大ヒット作以外の作品にも、随時触れてゆきます。

(主催:フェニーチェ劇場友の会、共催:日比谷図書文化館)

- 日時:前編:ウィンナ・オペレッタ「金」の時代 ~シュトラウス2世やホイペルガーの作品を中心に~ 3月6日(日)14:00~15:30(13:30開場) 後編:ウィンナ・オペレッタ「銀」の時代 ~レハールやカールマンの作品を中心に~ 3月20日(日)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:各回60名 ■ 参加費:各回1500円

## 3/11 (金) 文化・芸術でひもとく世界の“いま”③ 現代アメリカの社会と音楽 —ブラック・ライヴズ・マター運動とBTSの成功

講師:大和田 俊之(慶応義塾大学教授)

ブラック・ライヴズ・マター運動とアジア系カルチャーの台頭。ヒップホップ/R&Bがアメリカ最大の音楽ジャンルとなったことと社会運動はどう関係し、アメリカ市場でのBTSの成功はどう達成されたのか——一見無関係に思われるアメリカ社会の二つの現象を、音楽文化を通して解説します。

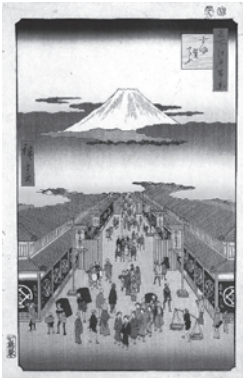


- 3月11日(金)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■ 定員:100名 ■ 参加費:1000円

## 3/16 (水) 江戸歴史講座 第73回 川柳と看板にみる江戸の暮らし

講師:谷田 有史(前・塩とたばこの博物館主任学芸員)

川柳は江戸時代の半ば頃から行われた「前句付」に始まり、もっぱら人事を詠む短詩文芸として人気を呼んだ。また看板も、業種ごとにさまざまなものが作られていました。今回は川柳と看板を中心に、現在も続く有名店、無くなってしまった商売など、江戸の町と人々の暮らしを紹介します。



広重名所江戸百景 するかてふ(駿河町)

- 3月16日(水)14:00~15:30(13:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:100名 ■ 参加費:1000円(千代田区民 500円)

## 3/22 (火) コンビニダイエット ~賢く!楽しく!コンビニメニューで健やかなからだを手に入れよう~

講師:浅野 まみこ(管理栄養士・コンビニ外食研究家)

「コンビニ外食って健康に悪そう」と、どこかで罪悪感を持っていませんか?いえいえそんなことはありません。上手にメニューをチョイスすれば、おいしく、栄養バランス良く、その上ダイエット効果まで!コロナ禍での体調不良や体重増加にお悩みのあなたに、賢く楽しいコンビニ活用術をお伝えします。



- 日時:3月22日(火)18:30~20:00(18:00開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員:40名 ■ 参加費:1000円

## 3/23 (水)他 あなたのための絵本の時間 ~オトナの絵本講座~(全3回)

講師:児玉 ひろ美(JPIC読書アドバイザー)

絵本には、文学が膨大な文字を用いて表すことを、一瞬で心に届ける力があります。これまでのあなたを優しく育んでくれた絵本から、近頃気になるあの絵本まで。絵本について語り合うことで視野を広げ、より深く絵本を楽しむ参加型の講座です。



- 日時: ※各回のお申込はできません 第1回「Soul絵本—こころの絵本」 3月23日(水)19:00~20:30(18:30開場) 第2回「Self-care絵本—寄り添う絵本」 4月6日(水)19:00~20:30(18:30開場) 第3回「Well-being絵本—幸せな絵本」 4月20日(水)19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員:30名
- 参加費:各回1000円
- 持ち物(第1回):あなたにとって大切な絵本

## 3/24 (木) ケルト文化と生命の再生 —神秘の渦巻文様から学ぶ

講師:鶴岡 真弓(多摩美術大学 芸術人類学研究所所長・美術館館長)

ケルトの人々の豊かな自然観・生命観は、『ケルズの書』に見られる渦巻、動物、結び目、組紐などの神秘的な文様・デザインに反映され、アール・ヌーヴォーにも影響を与えました。ケルト系の人々によって伝えられてきた芸術文化を通して、日本人の心と響き合う特色に迫ります。



ケルト渦巻文様 『ケルズの書』より(部分) タブリン大学 トリニティ・カレッジ図書館蔵

- 日時:3月24日(木) 19:00~20:30(18:30開場)
- 会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員:100名 ■ 参加費:1000円

## 【ポモー又広報室より】

豆まきだけでなく、恵方巻もすっかり定着した節分。恵方とは、その年の特に縁起の良い方向であり、明治頃までは初詣も恵方へとお参りしていました。2022年の恵方は北北西やや北より。日比谷図書文化館を中心とすると九段方面が恵方となります。九段には千代田図書館がありますので、2つの図書館を巡ると良いことがあるかもしれません。

From Chiyoda Public Library ■ 千代田区立図書館からのお知らせ

展示 思わず手に取る!! 欲しくなる!! 表紙を彩る 魅惑の アートたち

思わず手に取ってしまう印象的な表紙の本に出合ったことがあるのではないのでしょうか。今回は、アートを表紙にデザインした本56冊と、その内9冊に使用されているアートの情報をパネルで紹介するとともに、関連本など約160冊を展示・貸し出します。いつもとは違った視点で本を楽しんでみてください。

- 会期: 開催中~3月26日(土) ※ 2月26日~28日は休館
- 場所: 千代田図書館9階 展示ウォール

